



障害者の職業訓練の実施及び効果的受入のための 職業訓練実践マニュアルのご案内

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構では、職業訓練上特別な支援を要する障害者の受入れやより効果的な職業訓練を実施するための指導技法等を『職業訓練実践マニュアル』としてとりまとめ、障害者の職業訓練に携わる職業能力開発施設等へ配布しています。



障害者の職業訓練実践マニュアル（PDFファイル）は
当機構のホームページに掲載しております。

<http://www.jeed.or.jp>

障害者職業訓練に関する指導技法等の提供

検 索



『職業訓練実践マニュアル』には、職業能力開発施設において、そのまま、あるいは加工してご活用いただけるよう職業訓練に必要な訓練教材等一式を収録したCDも添付しています。

❖お問い合わせ❖

障害者の職業訓練実践マニュアル等に関するお問い合わせ（CDによる提供も行っております。）

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

障害者職業総合センター 職業リハビリテーション部指導課

〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-3 TEL:043-297-9030

職業訓練の指導技法等に関するお問い合わせ

国立職業リハビリテーションセンター

職業訓練部

TEL:04-2995-1713

国立吉備高原職業リハビリテーションセンター

職業訓練部

TEL:0866-56-9003

（指導技法等に関するご質問や施設見学のお申し込みを随時受け付けております。）

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が運営する国立職業リハビリテーションセンター（埼玉県）、国立吉備高原職業リハビリテーションセンター（岡山県）では、職業訓練上特別な支援を要する障害のある人を積極的に受入れ、先導的な職業訓練を実施するとともに、障害者職業能力開発推進会議報告書の提言等を踏まえ、職業訓練の内容や指導技法等を取りまとめ、他の障害者職業能力開発施設等に提供しています。

職業訓練実践マニュアルは以下のテーマについて発刊しており、障害者の受入準備から訓練実施、就職活動支援に至るまで様々な内容を記載しています。

なお、より実践的な訓練内容についても記載しているため、既に受入れを行っている施設においても参考としていただけます。

【テーマ】

- ・ 重度視覚障害者（事務系職種）
- ・ 発達障害者
- ・ 精神障害者

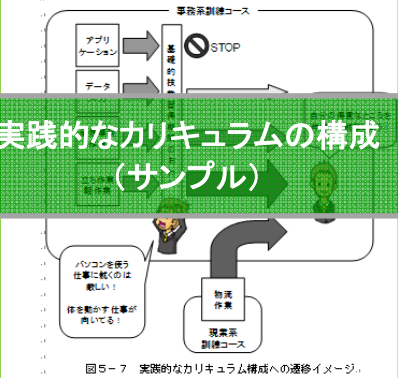
【記載内容】

- ・ 障害特性と職業上の課題や配慮事項
- ・ 訓練コース、訓練内容の設定
- ・ 訓練教材の作成
- ・ 効果的な指導方法・指導上の留意事項

精神障害者編Ⅰ～施設内訓練～

訓練内容や指導方法等から、家族・関係機関との連携方法、より実践的な職業訓練の実施方法等までをとりまとめました。【平成24年度発行】

(2) 実践的なカリキュラムの構成について。
職業訓練の初期は、各訓練コースにおける標準的なカリキュラムに沿って訓練が実施されます。時間の経過とともに弾力的なカリキュラム構成をしていくことが望まれます。具体的には、訓練初期においては訓練生の作業適正を把握する目的から、種々の基礎的な作業を行い、基礎的技能的習得がなされた段階で、その後の訓練生の作業習熟の可能性および訓練生自身が認識した作業適正を考慮し、就労像を見据えた訓練へと移行していきます。その場合のカリキュラム構成は、必要に応じて訓練コースを構築できるように柔軟さが求められます。..



実践的なカリキュラムの構成
(サンプル)

施設内訓練用教材のポイントとしては..
① 訓練生が自立的に作業しやすい。
② 処理対象物が短時間で準備できる。
③ 作業結果の評価が容易である。
④ 進捗と習熟度が明確に把握できる。
..
といったことが挙げられます。..



図5-5 作業風景



効果的な指導技法
(サンプル)

また、訓練や就職活動の進め方など、1年間の訓練計画等について情報共有や支援体制と役割分担の確認を行います。訓練と就職活動を円滑に進めるためには事前に共通した認識を持つことが重要です。十分に意思疎通を行い、チームで本人を支えるという認識を持つことができれば、訓練においてもその後の就職においても目標達成がしやすくなります。..

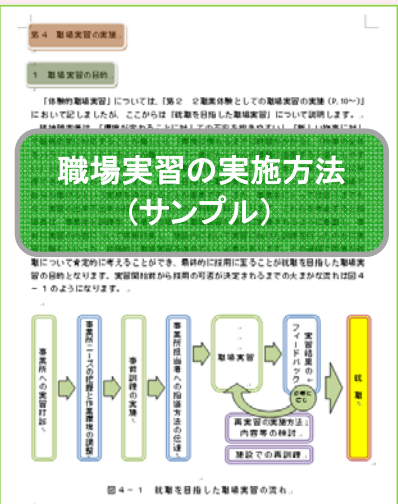
関係機関	ハローワーク	地域支援センター	就業生活支援センター	医療機関
連携内容	○	○	○	○
職業やこれまでの就職活動・職業相談などの情報収集	○	○	○	○
障害特性や配慮事項についての情報収集	○	○	○	○
通院・服薬状況、健康管理、医学的な配慮に関する情報収集	○	○	○	○
求人情報の提供	○	○	○	○

関係機関	ハローワーク	地域支援センター	就業生活支援センター	医療機関
連携内容	○	○	○	○
通院・服薬状況、健康管理、医学的な配慮に関する情報収集	○	○	○	○

関係機関との連携
(サンプル)

精神障害者編Ⅱ～企業との協力による職業訓練等～

職場実習等の企業との連携による効果的な訓練方法や就職活動における支援技法等についてとりまとめました。【平成25年度発刊】



職場実習の実施方法
(サンプル)



職務分析の方法
(サンプル)

＜再発を防ぐために事業所に協力いただきたいことについて＞

再発予防を心がけることは、仕事を続けるためにとても大切です。本人の自己管理が基本ではありますが、事業所にも体調不良につながる注意サインとその対応品を伝えておくことで、症状の変化に速やかに対応でき、再発防止に繋がることができます。

事業所へのアプローチ方法 (サンプル)

依頼方法

- 本人に声かけ
「疲れているように見えるけど、眠れていませんか？」
「つらかったら、休んでいいですよ」
「早めに受診してみるといいのでは？」 等
- 家族または支援機関に連絡
本人の様子や本人に声をかけた場合は、その内容を本人の反応を伝えていただく。

事業所へのアプローチ
方法
(サンプル)

発達障害者編Ⅰ～知的障害を伴う人の施設内訓練～

訓練開始に向けた準備に必要な訓練職種・訓練内容の設定方法や訓練環境整備のポイント等から、職業訓練の実施に必要な訓練カリキュラムや訓練教材の作成方法、関係機関との連携方法等までをとりまとめました。【平成22年度発行】

発達障害者編Ⅱ～施設内訓練～

訓練実施上の配慮点、訓練職種・訓練内容の設定方法、訓練環境整備のポイント等から、職業訓練の実施に必要な訓練カリキュラムや訓練教材の作成方法、より効果的な職業訓練を実施するための、家族や関係機関との連携方法等までをとりまとめました。【平成23年度発行】

発達障害者編Ⅲ～企業との協力による職業訓練等～

職場実習等の企業との連携による効果的な訓練方法や就職活動における支援技法等についてとりまとめました。【平成24年度発行】

発達障害者の訓練者に対する配慮

発達障害者への訓練者に対する配慮

特性に応じた配慮事項 (サンプル)

企業ニーズを踏まえた実践的な訓練カリキュラム (サンプル)

就職支援の方法 (サンプル)

重度視覚障害者編Ⅰ～施設内訓練～

事務系職種の職業訓練について、訓練開始に向けた準備に必要な訓練環境整備の内容や訓練指導員を対象とした研修を実施する機関の情報から、職業訓練の実施に必要な訓練カリキュラムや訓練教材の作成方法、企業ニーズを踏まえた実践的職業訓練の実施方法等までをとりまとめました。【平成22年度発行】

重度視覚障害者編Ⅱ～企業との協力による職業訓練等～

事務系職種の職業訓練について、職場実習等の企業との連携による効果的な訓練方法や就職活動における支援技法等を取りまとめました。【平成23年度発行】

支援機器等の情報・環境整備の必要性 (サンプル)

効果的な指導方法 (サンプル)

プレゼンテーション資料の作成 (サンプル)

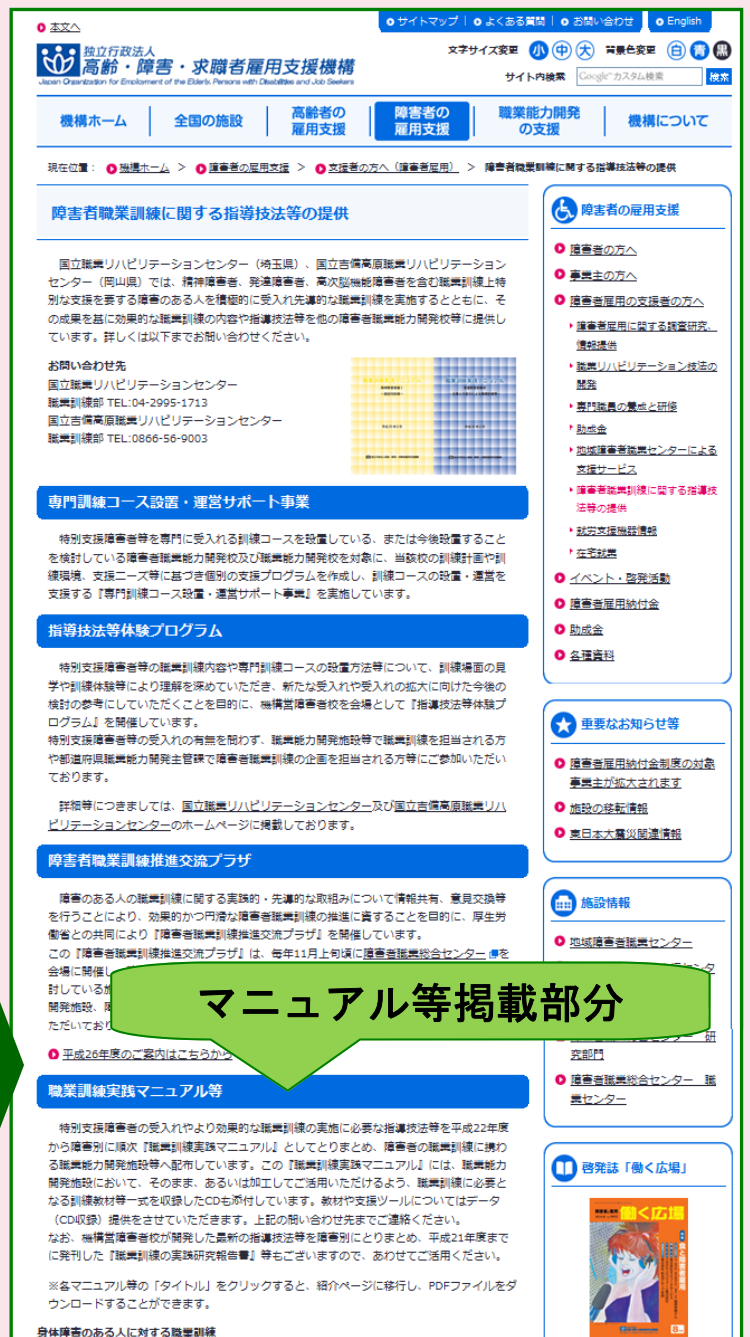
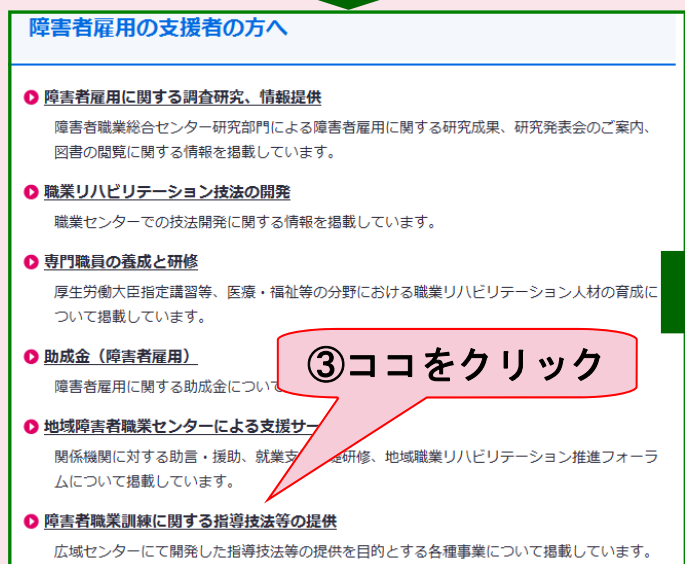
図2-11 訓練内容の映像による視覚資料の例

『職業訓練実践マニュアル』は当機構ホームページに掲載しております。
掲載場所については、以下をご参照ください。

トップページアドレス <http://www.jeed.or.jp>



機構営障害者校が開発した指導技法等を障害別にとりまとめ、平成21年度までに発刊した『職業訓練の実践研究報告書』等もございますので、あわせてご活用ください。



マニュアル等掲載部分